

KSN 通信 VOL.197

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

打者に専念した今シーズン終盤では連日記録を更新して世界を大いに沸かせてくれたロサンゼルス・ドジャースの大谷選手は、惜しくも三冠王こそ逃したものの、前人未到の大記録「50-50」を超える「54-59」まで記録を伸ばしました。加えて日本人メジャーリーガー初の打率3割、30本塁打、30盗塁の「トリプルスリー」を達成するなど偉業を成し遂げたほか、塁打数、得点、出塁率、長打率、長打数等々、リーグ10冠という圧倒的な成績を上げ、記録ずくめでレギュラーシーズンを終えました。今後も開幕した初のポストシーズンはもちろん、来シーズンでの投手としての活躍も期待されますね。



■ KSN からのお知らせ

■ 工場の設備工事に伴う搬入制限に関するご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、弊社炭化リサイクル工場におけるメンテナンス工事に伴い、誠に勝手ではございますが、2024年10月7日（月）から2024年10月18日（金）の期間におきまして、施設への搬入制限を設けさせていただく運びとなりました。関係者の皆さまには多大なるご迷惑をお掛けしますこと心よりお詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力を賜れますようお願い申し上げます。



■ 環境・リサイクルニュース

■ 「太陽光パネル」リサイクルの制度化へ

2012年7月から開始した再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法に基づく固定価格買取制度により、太陽光発電設備の導入が大幅に進みましたが、20年から30年とされる耐久年数を過ぎる2030年代の後半には、年間50万トンもの「太陽光パネル」の大量廃棄の時期を迎えると推定されております。2022年7月より、発電事業者に対して太陽光発電の廃棄・撤去費用の積立が義務化されておりますが、現在、太陽光パネルのリサイクルは義務化されておらず、撤去後は大半が埋め立て処分されているため、今後リサイクルをどう進めていくのかが課題となっています。先般、再生可能エネルギー発電設備のリサイクル・適正処理に関する対応の強化に向け、制度的対応も含めた具体的な方策について検討することを目的として立ち上げられた、環境省・経済産業省共同事務局の有識者会議の会合が開催され、太陽光発電設備リサイクル制度及び使用済太陽光発電設備の再利用の推進の在り方に関する事項等について審議されました。会議では、年内にも議論を取りまとめて、来年の通常国会での関連法案の提出を目指しています。

